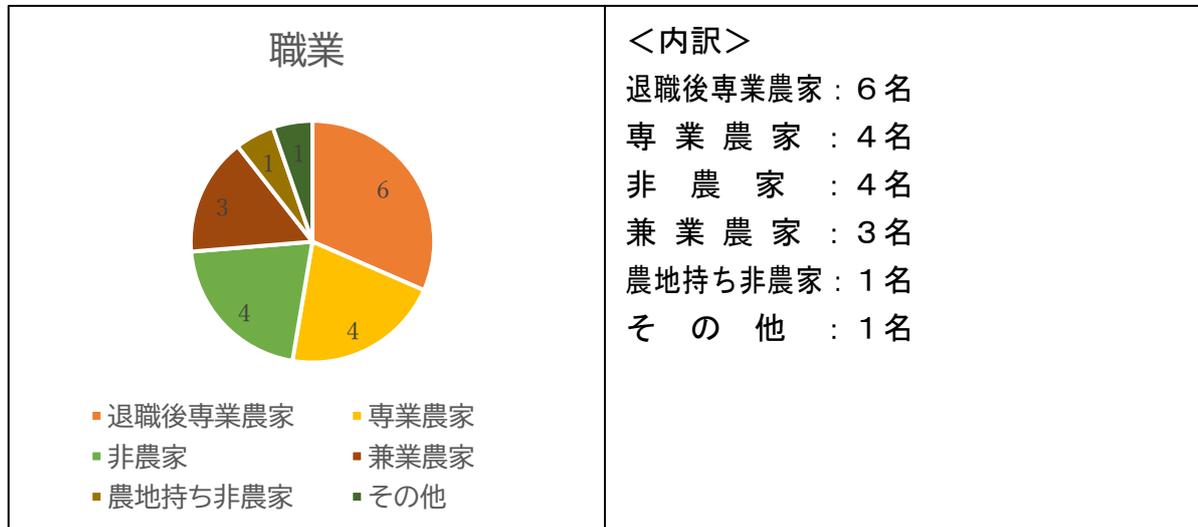


【真崎浦・大山下・細浦・新川(田エリア)令和5年度2回目座談会参加者アンケート 結果】

実施日:令和6年2月9日(金)

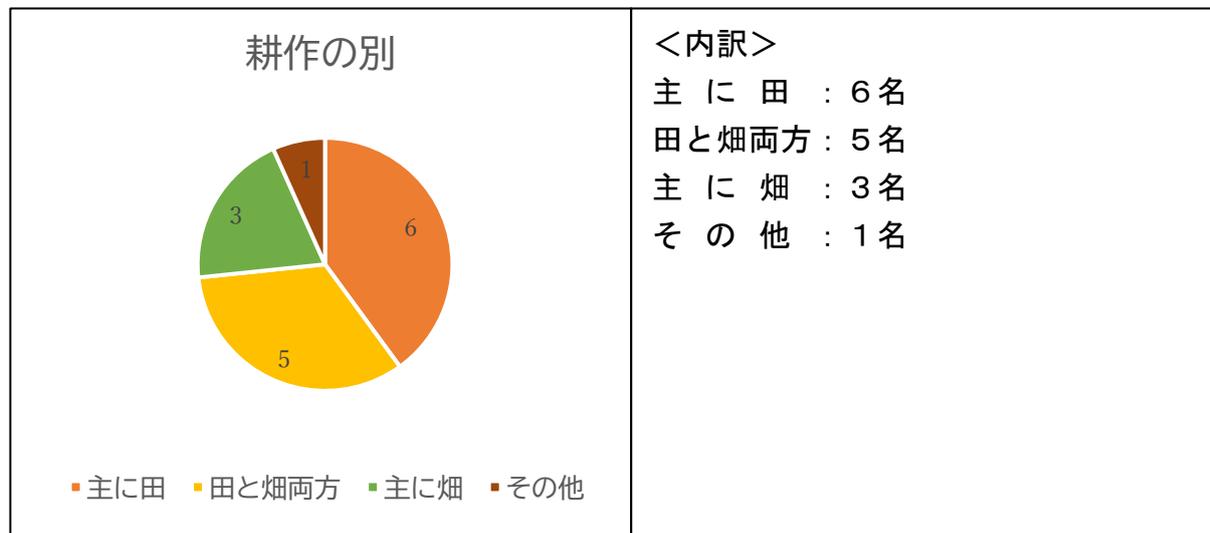
アンケート回答者:19名

■1 座談会参加者の職業



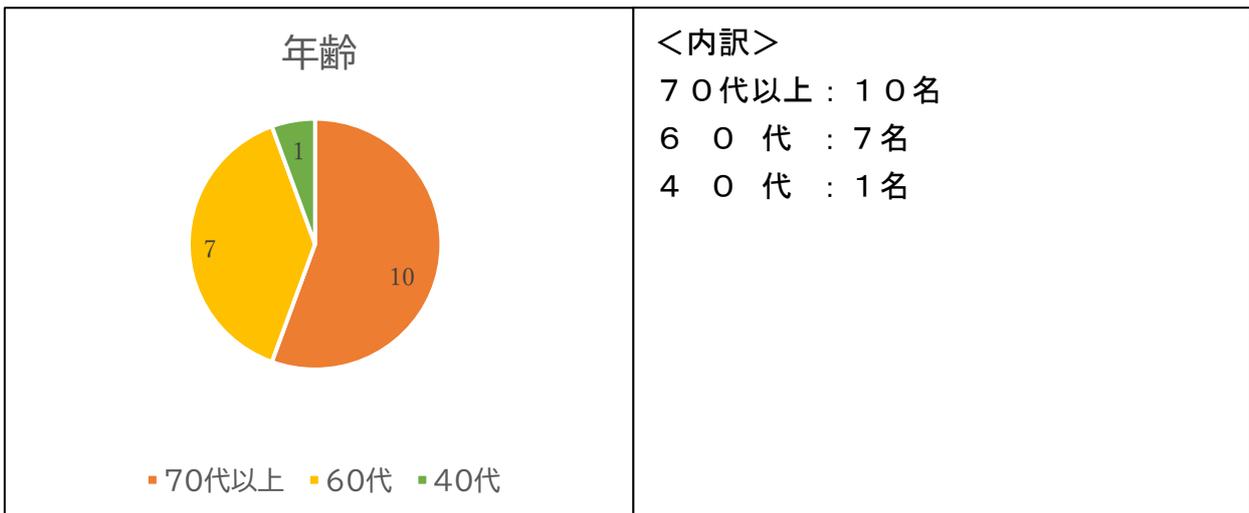
⇒退職後専業農家の方の参加が多かった。

■2 座談会参加者(農家の方)の耕作の別

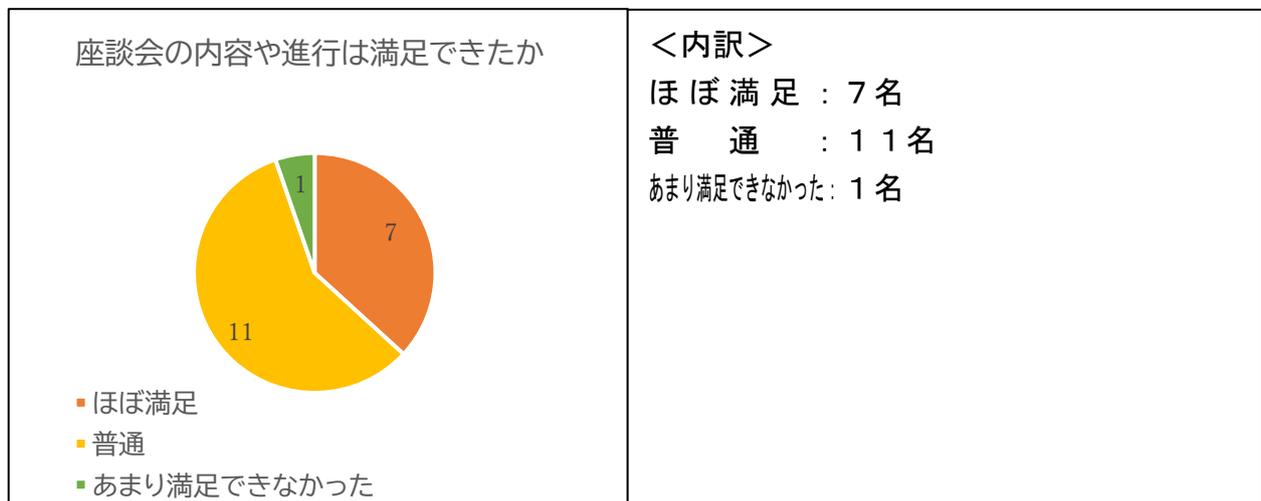


⇒「主に田」,「田と畑両方」を耕作している方の参加が多かった。

■3 参加者の年齢



■4 座談会の内容や進行は満足できたか



⇒参加者の多くが「ほぼ満足」、「普通」だった。

<意見>

- ・参加者が増える日程を計画願う。
- ・話が大きくて難しかった。

■5 座談会で示された計画の内容等についての意見

- ・担い手を確実に定めて、計画の立て直しを図る。
- ・認定農業者の拡充。
- ・担い手不足の解消。
- ・農業をする人の確保が一番大事である。
- ・主催者側の説明等と聞く側の意識にズレがあるのでは。
- ・進歩した意見が出ない。(従来意見と同じ。)

- ・テーマに対する話し合いの時間のみなく、なんとなく現状の不満が出たような気がする。将来に向けた話ができるまではいかなかったかなと思う。
- ・今後5年、10年の計画、目標を進めるためには金の問題、人の問題、いかに魅力を感じさせるか。行政(特に国)の政策と現実は大きくかけ離れてしまうのでは。問題点はものすごくあると思う。
- ・次世代の人を確保することが重要。
- ・担い手が決まっていない中での目標地図作成は難しい。何か基準等が示せれば考えやすくなると思う。

■6 その他の意見, 今後の座談会についての意見

- ・実際に大きく農業をしている認定農業者の参加が少ない。できれば午後6時以降に行い、参加率が高められれば良いのでは。
- ・エリア内の意見をみんなで共有して進めたいと思う。
- ・農研機構の説明をもう少し詳しく聞きたい。
- ・座談会は隣のグループとは少し距離を置いて、隣の話し声が聞こえないようにするのが良いのでは。
- ・ファシリテーターが参加者の意見をまとめてくれるので話しやすかった。